

年頭あゆさつ



新しい時代に向かって
前進を

町長 向後 肇



明けましておめでとうございます。
輝かしい新春を明るく希望に満ちてお迎える
ことと思います。今年もまた幸多きよい年
でありますよう、心からお祈りいたします。

さて、皆さんの中にも平成十年の新春を寿
ぎながらも、これからの日本経済の行方の一
抹の不安を感じておられる方も多いのではな
いかと思います。昨年末の相次いだ大型倒産
や金融不安、そして行財政構造改革など今年
は厳しい試練が待ちかまえているようです。

政府はすでに平成十年度予算においては公共
事業費七%カット等の方針を打ち出し、県に
おいても単独事業費三〇%カットの方針であ
り、自主財源の乏しい当町にとつては財源確
保に苦勞する年になりそうです。

しかしながら平成十年は二十一世紀を目的
前にして、光町が一層発展をするための基礎
固めをしなければならない大切な年であると思
います。そのためには平成十二年に導入され
る予定の介護保険制度などの新しい社会保

障制度がスムーズに発足できるよう十分な準備
が必要であります。高速道路銚子連絡道も
紆余曲折はありましたが今年こそ着工
するでしょう。高速道の整備に併せて町の発
展性をさぐり、都市計画の策定などの準備を
する必要もあります。「ひかり工業団地」も
完成間近となり、道路の整備に加えて企業誘
致にも取り組む必要があります。南条地区の
スポーツ施設についても着工に向けて努力す
るとともに地域別行政懇談会などの対話行政
や町の行政改革にも取り組まねばなりません。
そのほか医療・教育・産業振興等数多くの課
題がありますがその解決のために懸命の努力
をして参りたいと思います。町議会や町民の
皆さんのご指導ご理解をいただきながらこの
厳しい時代を乗り越えて、二十一世紀の新時
代を目指して着実な前進をして参りたいと思
います。

町民の皆さんの一層のご支援ご協力を心か
らお願いいたします。

